

## 令和6年度 ふじみ野市立葦原中学校 学校経営方針

### 1 はじめに

昨年度に着任して以来、素直でまっすぐな生徒とどこまでも生徒を大切にす  
る素晴らしい先生方の姿を見てきました。またその裏で不安や戸惑いを覚える  
先生方の姿も見てきました。

今年度も皆さん一人ひとりが生き生きと勤務し、人を大切にし、心を大切に  
した教育活動を意図的・計画的・組織的に行える学校づくりを進めていこうと  
思っています。今年度も校舎内外の環境整備に着手し、保護者や地域の皆様に  
目に見える形での学校の変化をお示し用と思います。そして学校と地域とのつ  
ながりを密にする事で教育力を高めていきたいです。そして保護者や地域の皆  
様のご支援・ご協力を得ながら教育活動を進めていきたいと考えています。

しかし世の中は刻々と変化しています。だからこそ学校は確固たる信念と状  
況に合わせた柔軟な発想をする学校経営が求められています。様々な意見や考  
えや評価に真摯に耳を傾け、課題の本質を見極めた上で冷静かつ的確に判断で  
きる校長や教職員でなければならないと思っています。

学校は子どもたちのためにあります。学校は教職員の生きがいや幸せの場で  
なければいけません。最高責任者である校長は子どもたちを心から愛し、教職  
員をどこまでも信頼し、優しさと厳しさをミックスした視点から全ての教職員  
の持つ素晴らしい資質や能力を最大限発揮できる場を設けることが自らの責務  
であると思っています。全ての教職員が気持ちよくそして自分らしく生徒や保  
護者や地域に愛情を注いでくれる学校づくりが校長に課せられた使命の一つだ  
と考えます。そのために今年度も全力で取り組んでまいります。

本校の職員はととてもバランス感覚に優れ、どんな困難な中でも助け合う精神  
が根付いています。職員室での笑顔や明るい笑いが大切である事を分かっている  
からでしょう。その雰囲気は子どもたちへの指導にも大きな影響を与えます。  
私は本校の教職員の皆さんは市内でもトップクラスの使命感や情熱を持っている  
と思っています。そんな教職員に日々指導される本校の子どもたちはとても  
幸せです。

世の中は生き方に軸がなく、知識や情報や他人の言動に戸惑い迷う人が多い  
です。その結果、責任や悪意を他者に押し付けて自分を守ろうとします。そん  
な世の中を生き抜くには、教職員同士や生徒・保護者・地域の皆さんとの間で  
温かな信頼関係の輪をたくさん創り、誰もが良さを出し合いながら、縁あつて  
出会ったすべての皆さんの力を結集して働き甲斐のある葦原中学校になる必要  
があります。そんな学校づくりに共に心を合わせて令和6年度も歩んでいきま  
しょう。

## 2 学校教育目標

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をもった生徒の育成

## 3 学校経営方針

### (1) 校長の姿勢

バスケット女子日本リーグ荏原製作所の元ヘッドコーチ丸山健治さんの言葉を再び引用しました。常に初心を忘れずに自分を戒め、誠意や信念や自戒を貫く姿勢をお誓い致します。

- ①三流の校長はやる気のない職員をみるとイライラする。  
一流の校長はやる気のない職員をみるとワクワクする。
- ②三流の校長は仕事が終わって疲れているときに疲れた顔をする。  
一流の校長は仕事が終わって疲れているときに周りを元気にさせる。
- ③三流の校長は職員のいないところで職員の能力が低いと悪口を言う。  
一流の校長は職員のいないところで職員のことを熱く語る。
- ④三流の校長は職場や職場の環境に愚痴を言う。  
一流の校長は職場や職場の環境に感謝する。納得がいかないことがあれば、すべては自分次第と考え、環境を変革する。
- ⑤三流の校長は職員たちの夢を知らない。  
一流の校長はすべての職員の夢を知り、職員の成長を本気で考え、夢を応援する。
- ⑥三流の校長は常にイライラして、職場の雰囲気悪くする。  
一流の校長は常にワクワクして、職場のみんなをワクワクさせている。  
頑張れば結果をつくることを知っている。
- ⑦三流の校長は職員に求めてばかりいる。  
一流の校長は求めるのではなく与えている。魅力とは求めれば消え、与えれば生まれる。
- ⑧三流の校長は変化へのスピードが遅い。  
一流の校長は変化のスピードが速い。情熱とはスピード。リーダーとは決断をして変化を起こす人。
- ⑨三流の校長はピンチに落ち込む。  
一流の校長はピンチをチャンスに変える。問題が起きたことが問題ではない。問題をどう考えるかが問題だ。

(2) 本校の使命

子どもの命を守り、子ども・保護者・地域を幸せにできる地域とともに歩む葦原中学校

(3) 目指す学校像

時を守り・場を清め・礼を尽くす温かな葦原中学校

- ①誠実な学校 . . . 迅速な対応、一生懸命、人を大切
- ②笑顔のある学校 . . . 子どもが主役、安心安全、豊かな人間関係
- ③調和のある学校 . . . 学校と地域、組織と個人、学年と学級

(4) 目指す児童像

- ①葦原中学校が大好きという思いを持つ生徒
- ②あいさつが自然と言葉と態度でできる生徒
- ③自分がされて嬉しいことを他にもできる生徒
- ④目標に向かってがんばる生徒

(5) 目指す教職員像

誠意 (sincerity) ・スピード (speed) ・笑顔 (smile)

- ① 葦原中学校の生徒に愛情をもって教育活動に専念する教職員
- ② 保護者や地域、業者や他校の教職員等に礼節を重んじる教職員
- ③ 自分がされて嬉しいことを人にもできる教職員
- ④ 仲間と協力して目標に向かって努力する教職員

(6) 目指す保護者像

- ①子どもが安心する温かな家庭生活の実現に力を尽くし、子どもの話に耳を傾けられる保護者
- ②規則正しい家庭生活や家庭学習を学校と協力して支援できる保護者

(7) 学校経営方針

急激な社会の変化に自ら進んで対応し、心豊かでたくましい人間を育成するために、本校を取り巻く様々な特性や生徒・保護者の実態を考慮しながら、全教職員の総意と知恵を結集して学校教育目標の具現化を図る。

## 子どもや教職員の心に情熱・意欲の炎を灯す学校経営

- ① 全教職員の総意（創意）を結集して、保護者や地域から信頼される学校づくりの推進  
※信頼は小さな事でも丁寧かつ迅速に対応する中から生まれる。
- ② 子どもたちの思いや願いを知り、互いに助け合いながら、常に自分の夢や希望に挑戦する教職員の育成  
※夢や希望を語る教職員には人を惹きつけるオーラがある。
- ③ 保護者や地域との絆を深め、その教育力を活用しながら、保護者や地域とともに歩む教育の推進  
※保護者や地域からの信頼なくしては教育は成り立たない。
- ④ 授業・学級経営がそれぞれ密接に連携しながら、子どもたちの笑顔が溢れる知・徳・体のバランスの取れた教育の推進  
※子どもが生きる場を組織的に提供してこそ学校が学校たる所以である。

### 4 本年度の重点・努力点

## 助け合い・支えあいの輪が広がる葦原中づくり ～ 児童・保護者・地域に教職員が手本となる姿を示す ～

- (1) **授業の充実**・・・「**道徳教育の推進を核とした授業の創造**」
  - 子どもがわかった・できた・嬉しいと感じられる授業を行う。
  - 授業規律・望ましい学習態度の伴った授業を行う。
  - 話し合い活動の機会を可能な範囲で増やす。
  - タブレットを活用した授業を積極的に行う。
  - 校内研究課題とリンクした授業改善を行う。

#### <取組指標>

- ☆ゲーム・スマホの時間を見直し、家庭学習の習慣化を定着させる。
- ☆昨年度の学力調査結果の課題を解消する指導を実施する。

- (2) **学級・学年経営の充実**・・・「綺麗な学級・学年に荒れた学級はない」
- いじめを許さない・見逃さない学級・学年づくりを推進する。
  - 子どもの心に響く掲示教育を推進する。
  - 学級の様子を学級・学年通信等で保護者に積極的に発信する。
  - 朝や放課後での教室の見届けと綺麗な学級環境を推進する。

<取組指標>

- ☆すべての担任が毎日放課後、学級を見回り、学級の実態を掴む。
- ☆生徒の心に寄り添い、いじめや不登校生徒を少しでも減らす。
- ☆掲示教育の充実を図る。不要になった掲示物は迅速に交換する。

- (3) **職員室環境の充実**・・・「誰もが働きやすい職場環境づくり」
- 管理職と教職員とが迅速かつ適時に的確な情報・指示の伝達を行う。
  - 机上の整理整頓を行い、子どものお手本となる職員室を創る。
  - 来客・電話への誠意ある応対や職員室・印刷室等の整理整頓に努める。

<取組指標>

- ☆来客者（保護者・業者・他校の教職員等）への温かな心配りをする。
- ☆電話対応は自分がされて嬉しい対応を相手にする。

- (4) **安心安全の充実**・・・「安心安全に対する緊張感を持続・保持」
- 安全点検や見回り活動のマンネリ化の防止と具体的な改善策を示す。
  - 避難訓練や交通安全に関する取組を充実する。
  - 危機管理防止マニュアルを全教職員が常に見える工夫を凝らす。
  - ☆教職員事故をゼロにする。
  - ☆生徒の実態を把握し日常の見回りや点検活動を決して疎かにしない。

5 終わりに

2年目の葦原中学校経営方針と校長像を示しました。大切なことは昨年の自分や子どもや学校全体の成果と課題を把握し、一つでも改善を図りながらその解決に学校全体で取り組む事だと思います。私は今年も動きます。